



チーズマスター会通信

2023年01月

新年ご挨拶

理事長 大塚義幸

チーズマスター会の会員の皆様、明けましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願いします。今年ウサギ年ですので、マスター会としても、ウサギにあやかり、飛んで跳ねて、スピードを持って、会の運営に当たりたいと思っています。

チーズの業界を取り巻く環境は、ロシアのウクライナ侵攻による多面的な影響を受けております。輸入チーズの価格にも大きな影響が出ております。美味しく価値のあるチーズですが、やはり高過ぎると手を出せなくなる方が増えていると思います。

それでもチーズマスター会としては、世界各国・日本国内での美味しいチーズを探索し、そして普及に努めていきたいと思っています。

昨年を振り返りますと、12月16日(金)18時より、いつものベターホーム銀座教室にて、恒例の「モンドールとラクレットの会」を開催することか出来ました。コロナ第8波の中でしたが、参加者は前回の10月を大きく超えて、28名様が出席されました。今回はゲストの方も多くなり、糸魚川市からも3名様参加されました。

チーズの手配については、今回もアルパージュの森さんより、とても状態の良いモンドールが届けられ、何とお一人様4分の1カット(100g位)をたっぷり食べることが出来ました。またラクレットも一玉5kgも、森さんがお持ちになった特製ラクレットオーブンで焼くことが出来ました。ラクレットは坂本さんが汗をかきながらの振る舞いで会員の皆様にサービスをしていただきました。パンやジャガイモにトローリとろけたラクレットを何度もお代わりする人が多かったです。

そして最後の締めには恒例の「焼きモンドール」を平賀さんが調理していただきました。皆で美味しく分かち合いました。



美味しいワインとモンドールとラクレットと12月にこれ以上の幸せ感はないと参加者の皆様が笑顔でお帰りになりました。

ご協力いただきました方には、本当にありがとうございました。